

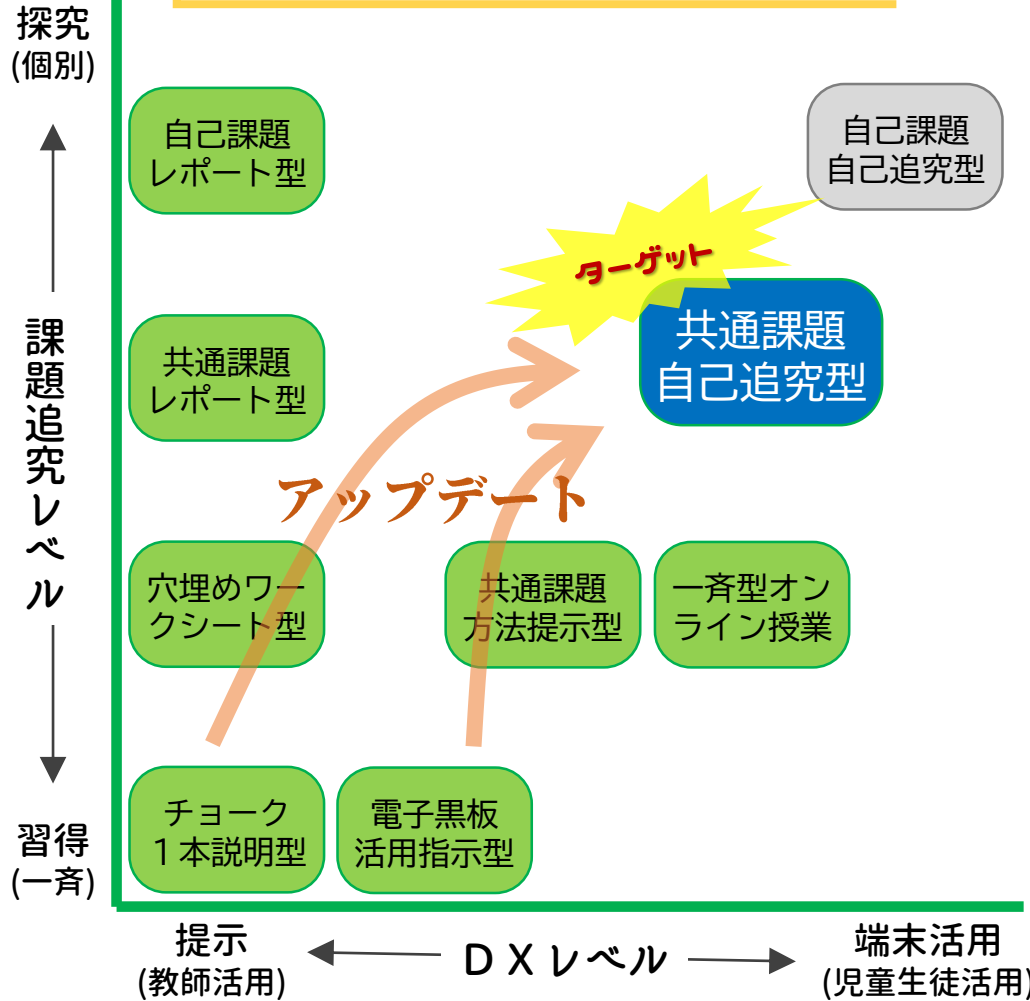
授業デザイン観の転換

自律的な学び手を育てる

何を学ばせるか

子供がどのように学ぶか

探究×DXによる授業の類型化と研究ターゲット



本研究実践のターゲット

各教科において、学級全体で共通課題を設定した上で、生徒各自が端末を駆使し、他者と情報共有したり対話したりしながら課題を解決するための授業を構想し展開する授業実践を目指す。

〈授業改善の進め方〉
・各教師が、自己の指導スキルの実態をつかみ、研究ターゲットである「共通課題自己追究型」授業に向けて、スモールステップの目標を設定し、授業改善を図っていく。

具体的な取組内容

授業構想シートを用いたDX活用の探究的な学びのための授業づくり
学習支援のための学習ガイドのDX化
教師のDX活用スキルレベルに応じたDX活用事例の創出
小中連携による小学生のオンライン授業体験
生徒支援に係る情報共有や目標の設定・評価を共有するためのDXツールの活用
非認知スキルを育てるための指導動画コンテンツのオンライン公開・小学校での活用

計画・構想

実践

評価

年間計画

5月	研究実践テーマの設定 年間計画立案
6月	互観授業ウィーク(13～23)
7月	各教科での授業構想、DX活用等の研究 L DX地区別研修会参加
8月	
9月	公開研究授業・講演会(28) 授業研究ウィーク
10月	教育工学研究協議会全国大会参加 DX活用授業実践
11月	DX活用授業実践 各教科研究授業(公開・校内)
12月	DX活用授業実践 各教科研究授業(公開・校内)
1月	DX活用授業実践 各教科研究授業(公開・校内)
2月	ラップアップミーティング(9) (公開)
3月	研究実践の評価と次年度に向けての研究課題